



桜島地域

SAKURAJIMA AREA

吉田地域

郡山地域

吉野地域

中央地域

伊敷地域

桜島地域

谷山地域

松元地域

喜入地域



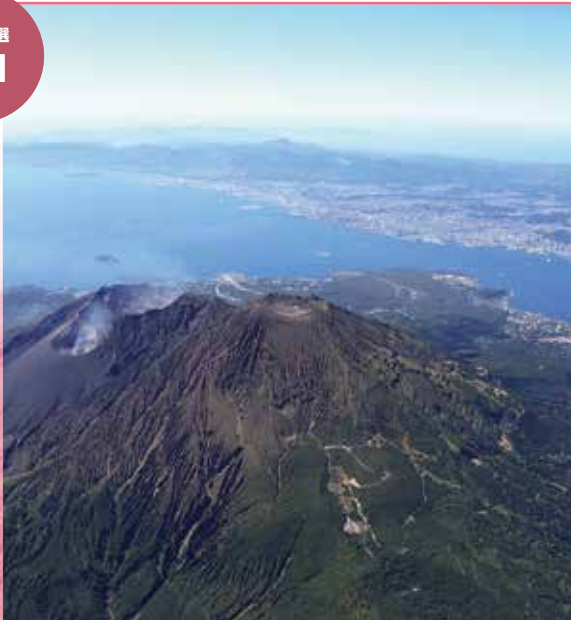
桜島地域の自然百選

- 051 桜島
- 052 新島
- 053 藤野アコウ群
- 054 園山地
- 055 昭和溶岩地帯
- 056 腹五社神社と鎮守の森
- 057 大正溶岩原と桜島溶岩なぎさ遊歩道
- 058 東桜島のアコウ群生
- 059 桜島有村海岸
- 060 沖小島

自然百選

051

大噴火を繰り返す複合火山



桜島

北岳、中岳、南岳の3峰などで構成される活火山で、北岳は市内で最も高い(標高1,117m)山岳です。これまでに数度の大噴火を繰り返したため、いくつかの溶岩群が存在し、火山域特有の生態系が形成されています。火口周辺の無生物地域、植物の遷移にあわせた植生の変化が確認できる年代別の溶岩原生態系のほか、畑作地などの生態系もあります。桜島は霧島錦江湾国立公園に指定され、日本ジオパークに認定されています。

アクセス*

- 鹿兒島港フェリーターミナルからフェリーで約 15 分

DATA

- 園 鹿兒島市桜島小池町、有村町ほか





シンジマ 新島

桜島の北側にある面積約0.1km²の霧島錦江湾国立公園に指定されている島です。江戸時代の噴火(安永噴火)の際に海底でも噴火が起こり、マグマが海底を押し上げてできた島と言われています。燃島貝層と呼ばれる貝殻を含む地層は、周囲の海岸や断崖に白い帯となって分布し、かつては浅い海であったことを示しています。

アクセス*

- 桜島港フェリーターミナルから浦之前港まで車で約25分、浦之前港から新島まで行政連絡船で約10分
- 市営バス「西浦/前」バス停下車、浦之前港から新島まで行政連絡船で約10分

DATA

- ☐ 鹿児島市新島町
- ☒ 行政連絡船は、日・水・金曜に1日3便運航



フジノ 藤野アコウ群

桜島の北西側の藤野地区の沿道に亜熱帯植物のアコウが断続的に生育しています。錦江湾に向かって道路の反対側に届くほどに枝を伸ばし、緑のトンネルを形成しています。

幹は幾重にも複雑に絡みあい、巨大な樹冠を形成する葉は一年中青々とし、その姿は南国を感じさせるような印象的なものとなっています。並木の一部は、市の景観重要樹木に指定されています。

アクセス*

- 桜島港フェリーターミナルから車で約10分
- 市営バス「浜平」バス停から徒歩約1分

DATA

- ☐ 鹿児島市桜島藤野町



ソノヤマイケ 園山池

桜島で一つしかない周囲およそ200mの塩水池です。池が錦江湾とつながっていて、潮の満ち引きによって水面が上下します。

県の絶滅危惧種に選定されたウラギクなどの生育が確認され、干潮時には湿地に降りたつ野鳥の姿を見ることができます。国及び県の絶滅危惧種に選定されたタケコケモドキが、国内では桜島の園山池のみ報告されていましたが、最近は見られなくなりました。

アクセス*

- 桜島港フェリーターミナルから車で約20分
- 市営バス「西園山」バス停から徒歩約1分

DATA

- ☐ 鹿児島市高免町
- ☒ 説明板はありますが、道沿いから池を見ることはできません。安全のため、池周辺への立入りはお控えください。



※ ダイア改正等により、バス停の名称等が変更される場合もあります。
※ 表記の行程時間は目安です。

自然百選
055

活火山の
実感スポット



昭和溶岩地帯

昭和噴火(1946年)の際に流れ出した溶岩原です。溶岩上の状態は年月とともに変化し、地衣類(菌類と藻類の共生体)が侵入した後にススキなどの草本が侵入し、現在は、明るい場所、乾燥した土地に育つクロマツとなっています。溶岩地帯の上側は、溶岩流出直後に地面から湯気がたっていた様子から、「地獄河原」と呼ばれています。道路沿いの展望台は、現在も噴煙を上げる昭和火口を望むビュースポットとなっています。

アクセス*

- 桜島港フェリーターミナルから車で約25分
- 市営バス「黒神小学校前」バス停から徒歩約6分

DATA

☐ 鹿児島市黒神町



自然百選
056

自然の
猛威から
再生した
森



ハラゴシヤ チンジュ 腹五社神社と鎮守の森

神社の鳥居は、大正時代の桜島の大噴火によって埋没し、上部だけが残り、埋没鳥居として県の文化財に指定されています。

神社の裏は照葉樹のスタジイの森になっています。大量の降灰で大多数の樹木が枯死したなか、幹が生き残ったスタジイは隠れた芽を出し、森の姿を再生したと考えられています。

自然の猛威を思い知らされるとともに、木々の力強さやたくましさを感じることができる空間となっています。

アクセス*

- 桜島港フェリーターミナルから車で約27分
- 市営バス「黒神中学校前」バス停から徒歩約1分

DATA

☐ 鹿児島市黒神町



自然百選
057

溶岩原の
上につくら
れた遊歩道



大正溶岩原と桜島溶岩なぎさ遊歩道

大正溶岩原の上には日本の遊歩百選に選定された全長約3kmの遊歩道があり、ゴツゴツした溶岩や植生遷移の進行過程のクロマツ群落、波静かな錦江湾を見ながら散策することができます。袴腰は、桜島で最も海藻が豊富な地域で、桜島周辺に出現するほとんどの種が生育するところです。海中・海上を含む海域の景観や生物多様性を保全するため、霧島錦江湾国立公園の海域公園地区に指定されています。

アクセス*

- 桜島港フェリーターミナルから徒歩約15分

DATA

☐ 鹿児島市桜島横山町



自然百選
058

大きな傘を広げたような樹冠



東桜島のアカウ群生

桜島の南側の海岸沿いの湯之持木港緑地公園近くに亜熱帯植物のアカウの群生があります。果実は鳥類の餌となります。大きな傘を広げたような樹冠が木陰をつくり、そこで休憩する人を多く見かけます。ここからは、溶岩上に広がる松林、海の向こうには沖小島を眺めることができ、前面の海岸では地元の小中学生が望岳遠泳を行っています。

アカウ群生の一部は、市の保存樹に指定されています。

アクセス*

- 桜島港フェリーターミナルから車で約10分
- 鹿児島交通「東桜島」バス停から徒歩約10分

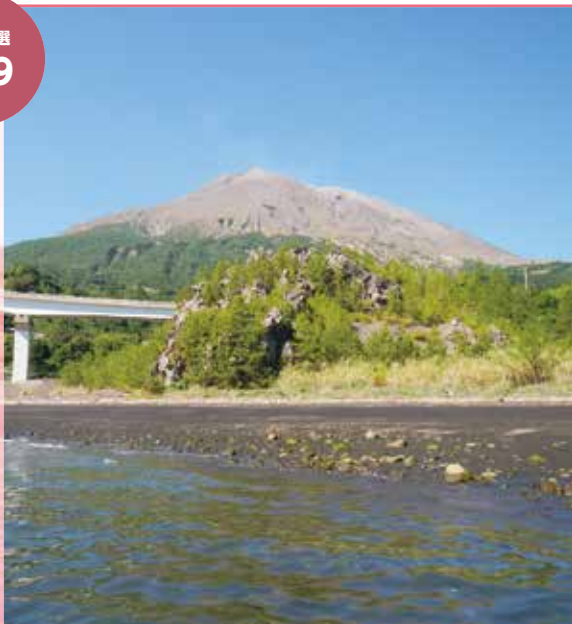
DATA

☒ 鹿児島市東桜島町



自然百選
059

足湯を掘って火山の恵みを実感



桜島有村海岸

桜島大観橋が架かる海岸です。干潮時には砂浜を掘ると温泉が湧き、足湯をつくることができます。足湯につかりながら、打ち寄せてくる波の音を聞き、背後にそびえる南岳を眺めるひとは、心も身体も癒してくれます。

近くの有村溶岩展望所からは、山頂や火口のまわりには植物がほとんど生育していない状況や年代の違う溶岩上の植生が異なっていることを緑の濃淡によって観察することができます。

アクセス*

- 桜島港フェリーターミナルから車で約17分
- 鹿児島交通「有村」バス停から徒歩約8分

DATA

☒ 鹿児島市有村町
☒ 雨天時は土石流が発生する恐れがありますので、近寄らないでください。



自然百選
060

錦江湾に浮かぶ希少島の生息地



オコガシマ 沖小島

桜島の南西沖にある約5haの無人島で、県の絶滅危惧種に選定されたウチヤマセンニューの生息地として鳥獣保護区に指定されています。周辺海域は、多くのサンゴが混在するとともに、ガラモ類が密生している箇所が多く見られます。これらの海中・海上を含む海域の景観や生物多様性を保全するため、霧島錦江湾国立公園の海域公園地区に指定されています。また、薩英戦争時に設置された砲台の跡は市の文化財(記念物)に指定されています。

アクセス*

- 定期航路等なし

DATA

☒ 鹿児島市桜島横山町



※ ダイア改正等により、バス停の名称等が変更される場合もあります。
※ 表記の行程時間は目安です。